

## 第4章 県政への自由意見

◆問4 あなたにとって、身近な地域や秋田県が「こうあってほしい」という希望や、「こんな地域にしたい」という夢について、何でもお気軽にお聞かせください。

### 【集計の方法】

回答は、内容から以下のA～Pの16項目に分類した。同一の回答者が複数分野にまたがる意見を記入している場合には、項目を分けて別意見として扱っている。誤字、意味の重複のある部分等は校正しているため、掲載文は回答原文とは異なる場合がある。

### 1 自由意見の項目別件数

項番	項目	件数
A	商工業、貿易、産業開発、雇用に関する事	102
B	観光、広域交通、交流の振興に関する事	77
C	農林水産業の振興に関する事	36
D	人口減少対策、少子化対策（結婚・子育て支援等）に関する事	189
E	保健、医療、福祉サービスに関する事	56
F	教育、教育環境に関する事	36
G	地域社会づくり、集落の維持等に関する事	59
H	生活基盤整備（上下水道、除排雪、地域交通等）に関する事	59
I	環境保全、自然環境に関する事	18
J	男女共同参画の推進に関する事	3
K	文化活動・スポーツ・生涯学習の振興に関する事	13
L	安全安心なまちづくり、治安、災害対策に関する事	37
M	県のPRやイメージアップ戦略に関する事	30
N	行政全般への意見	72
O	文化遺産・景観の保全に関する事	6
P	その他	126
	<b>合 計</b>	<b>919</b>

## 2 自由意見 733名の方から、919件の意見をいただいた。一部を抜粋して掲載する

### A 商工業、貿易、産業開発に関すること

- 若年の起業家（特に農業・観光）への支援を充実し若者が就職できる環境を整える。（女性／50歳代／由利地域）
- 冬期間、雪の多い秋田県に企業誘致は大変だと思いますが、教育県からの若い人材の流出は残念でなりません。大都市からの福祉関連の誘致などが良いのではと思います。設備のある大きな病院の近くに、公営の福祉施設は有効な安定雇用確保になると思います。設備投資も物価の安い地方が有利かと思います。（女性／60歳代／平鹿地域）
- 自動車産業や航空機産業、IT産業等、新ジャンルの産業誘致によって、人口減少が多少なりとも食い止められればよい。（女性／50歳代／秋田地域）
- 上場企業の企業誘致は頑張してほしい。（男性／50歳代／秋田地域）
- 働く場所の確保。最低賃金の引上げ。子どもを産み育てる環境を行政がつくっても、企業の体制が変わらないと無理。中小企業の場合、有給休暇を取りたくても会社側が取りづらいシステムにしている。働く側の権利がない。（女性／40歳代／由利地域）
- 雇用の拡大を。地元で働ける職場の確保（工場等の誘致）。（女性／60歳代／秋田地域）
- 環境再生に関するビジネスを成長させることで県内に大企業をつくる。それによって県の財政を向上させ、福祉、子育てに関係する政策の資金を確保する。（男性／20歳代／仙北地域）
- 若者や中小企業がもっと活躍できるような地域になってもらいたい。（男性／40歳代／秋田地域）
- 県産物のブランド化、産業の技術向上や教育の交流など秋田港を拠点とした活動を期待したいと思います。秋田の気候風土、自然環境などは大変貴重な資産であると思います。（女性／60歳代／秋田地域）
- エネルギー開発にもっと力を入れてほしいです。（男性／40歳代／秋田地域）
- 最近、新聞・テレビ等で木材の高度利用としてCLT（直交集成板）やCNF（セルロースナノファイバー）の記事を目にしますが、木材県の秋田でこれらの取組ができないだろうか。（男性／70歳以上／山本地域）
- 正社員にしても、アルバイトにしても、給料が安すぎる。最低賃金をもう少し上げるべきだと思う。（男性／20歳代／平鹿地域）
- 自分達の子どもが、県外の大学を卒業しても戻って来られる就職先の充実をしてほしい。（女性／40歳代／山本地域）
- 道路整備、道路網整備を急いで交通や運送の便を良くしてほしい。公共事業は必要である。兼業農家の多くは、建築、土木の仕事から収入を得ている。収入が増えればお金が回り、活気ある秋田県になる。

と思う。（男性／50歳代／仙北地域）

- 雇用について、企業を誘致した後も監督・指導体制を強化してほしい。定着して勤める人が年々減ってきていると思います。（女性／40歳代／秋田地域）
- 秋田県の魅力は、安心・安全・高品質の「食」と無限の可能性を感じる「エネルギー（風力、バイオマス、地熱）」である。生活の根幹となる「食」と「エネルギー」を自給率100%とする秋田県を目指していきたい。「観光」や「スポーツ」も大事であるが、やや過剰な期待をかけすぎている気がする。（男性／40歳代／秋田地域）
- エネルギー分野では、メタンハイドレートやシェールオイルなどの秋田沖にあるとされる新エネルギーの開発や実用化などを推進してほしいです。国や企業とタッグを組み、資源開発ができれば、秋田県の環境も劇的に変わり、様々なメリットが生まれます。雇用、収入はもちろん、港湾や交通網などのインフラも整備されて、少子化も解消されると思います。（男性／30歳代／秋田地域）

## B 観光、広域交通、交流の振興に関すること

- 利便性の高い交通環境を整備してほしいです。人の出入りが容易にできるのであれば、産業、観光、定住など多くの問題の解決への糸口が見つかるのではないかと思います。秋田には沢山の素晴らしい物や場所があるので、より多くの人々が来られる環境が必要だと思います。（男性／20歳代／秋田地域）
- 医療分野では全国に誇れるものもあるので、それを生かして全国や海外からの集客を図る。（女性／50歳代／由利地域）
- 人は美味しい物に食いつきます。秋田の美味しい物をもっともっと食欲にPRしてもよいと思います。そして美しい秋田に癒しを求めて来る方々を温かく迎え入れ、心の交流を大事に、丁寧にすることで、より良い秋田になっていくと思います。（女性／50歳代／鹿角地域）
- 観光資源はあるのに、人が集まらないのが悲しい。交通の便も悪く、周辺観光が整っておらず、全てが不十分だと思う。政策をするときは将来まで見越して半端なことをしないでほしいです。（女性／20歳代／秋田地域）
- 観光や加工食品、工芸品などインターネットを通じてどんどん売りこんでほしい。県内の施設や名物について一通り知っていても実際に足を運んだり購入するものはごくごく限られたものなので、地域ごとに交流したり一堂に会してイベントを開催する機会をもっと増やしてもよいのでは。（女性／40歳代／平鹿地域）
- 中国からの観光客がたくさん来て、経済を活性化できるような秋田県。現在の日本の観光地は、中国からの客で支えられているといっても過言ではないと思う。タイ、インドネシア、韓国と交流を強めることもよいが、もう少し中国の人口や経済的な部分を考えて交流したほうがよいと思う。（男性／40歳代／仙北地域）
- 秋田駅前に24時間営業のお店をつくってください。フリーWi-Fiエリアをもっとつくっていただきたいです。（男性／40歳代／秋田地域）
- ふるさと村等観光施設はマンネリ化しているためリニューアルしてほしい。また、現在進められてい

る新たな文化施設（県民会館、文化会館）やスタジアム建設は、中途半端な規模ではなく、せっかくだからつくるのであればそれなりの物にしてほしい。（男性／40 歳代／平鹿地域）

- 大企業、全国の大学の研究機関、プロも含めたスポーツ関係の合宿や研修施設を誘致する。（男性／60 歳代／雄勝地域）
- 「体験型消費」としての県づくりをしてほしい。（男性／30 歳代／由利地域）
- 自然にあふれ、高齢者が住みやすい県。国際交流が充実し、外国の高齢者の方々が訪れやすい町になってほしい。（女性／10 歳代／山本地域）
- 県内全域（特に主要道路のある地域）のパトロールが必要。男鹿半島に行った時、道路両側に草が大量に生え、車の通行に危険を感じる場所が多くある。あれでは観光地の活性化は不可能。道路はつくるだけでなく見通しが良く、安全性を重視したメンテナンスが必要。（男性／60 歳代／秋田地域）
- 何か1つでも大きな目玉となる、秋田の自然なども取込んだ1日中楽しめる場所が駅周辺にできればいいと思う。アトリオン、県立美術館などはあるけれど、地元に住んでいても年に1度行くか行かないかという感じなので、リピーターが増える施設が必要だと思う。雇用も充実して、楽しめる場所もあって、安心して住める秋田であってほしい。（女性／10 歳代／秋田地域）
- 県外の方々におみやげ（食べ物）を持って行く時、もっと種類があればいいなと思います（オシャレな感じの品物など）。（女性／50 歳代／由利地域）
- 観光客を増やす工夫について。私は横手市在住ですが、かまくら祭りに今年行って見て、盛り上がっていないと感じました。市民全員がかまくらを盛り上げ、観光客も楽しかったと思える祭りになれば、もっと人が来ると思います。他の市町村も同じではないでしょうか？何となく全体に元気がない、工夫はしているけど中途半端。他県から人が来ればそこに雇用も生まれ、活性化もできると思います。北海道の旭川市に上野ファームという庭があります。あの庭だけでも年間観光客が押し寄せます。秋田でも何かできるはず。自然を生かした観光立国に期待します。（女性／50 歳代／平鹿地域）
- 他県に友人がいるが、秋田は交通の便が悪くて不便だと言われた。秋田市はいいかもしれないが、それ以外に観光地などたくさんあるのに、交通の便の悪さに楽しさも半減する。（女性／50 歳代／雄勝地域）

## C 農林水産業の振興に関すること

- 「あきたこまち」に続く県を代表するような米又は農産物を作ってほしいと願っています。全国の皆さんに「さすが！秋田は米どころ！」と再び言っていただけるよう、研究、技術、設備に投資していただいて、農作物の研究者や開発者が集まるような県になってほしいと願います。農家民宿など広めれば、もっと農業で食べていけると思います。（女性／50 歳代／秋田地域）
- 米が主食という考えを少し変える必要がある。意識を変えることにより農家の農業に対する取り組み方が違ってくる。今の農家は、補助が多いせいか現状に甘える風潮が見られ危機意識に欠けている。（男性／70 歳以上／秋田地域）
- 農業では米価を上げる政策に取り組むことが一番効果が高いと思います。新品種の開発に期待したい。

(女性／50 歳代／秋田地域)

- 農業の担い手の育成、確保を大事にする。(男性／60 歳代／平鹿地域)
- 農業が秋田に適した産業であることに誇りを持てるような農・産業構造が構築されること。(男性／60 歳代／秋田地域)
- 基幹である農業を振興し、山村でも生計できる地域社会を構築する。(男性／60 歳代／仙北地域)
- 地元品種の売り込みなど、小さいネットワークが次の世代へとつながっていく土台作りを、行政にも手助けしてほしい。(女性／40 歳代／由利地域)
- 草だらけの農地が増えている。農家は土地を手放したがるらないが、なんとかならないか。農地を会社形式で活用していくことができないか。(女性／70 歳以上／由利地域)
- 秋田県で研究し、発見されたものでしたら、県で育て、製品にして、秋田県発となるようにしたらよいと思います。例えば、お米の新品種など。農業試験場、果樹試験場、秋田の品種にはすばらしいものがあります。私たちが生きていくうえでますます食の安全が望まれます。秋田県はそれができます。新品種は県外不出にして育てるべきです。(女性／60 歳代／北秋田地域)
- 秋田米の生産技術をしっかり生かせる工夫をしていただきたいと思います。(女性／70 歳以上／秋田地域)
- 自分の勤務している学校も、どんどんクラス数が減少し、規模が小さくなっている事を実感します。また優秀な生徒ほど県外へ行く構造のため、もっともっとAターンを促進し、帰ってきたいと思う秋田にしたい…してほしいと思います。秋田の大事な産業である農業も、ぜひ元気になってほしいです。せっかく秋田に生まれ、自然環境も好きで農業をやりたいという生徒が、なかなか農関係の雇用にありつけず、独り立ちもできないため、違う職種や県外で働くという現場を見てきました。人材流出でもったいないと思いました。秋田で生きたいと望む者が少しでも秋田で定住できるよう、雇用の創出をお願いしたいです。(女性／30 歳代／秋田地域)
- 農林水産物に関しては、近年の県や農家の働きにより、新ブランドや宣伝など、徐々に改善してきていると思いますが、米や果物については、山形県などに遅れをとっていると感じます。せっかく県産の農産物には味の良い物もあるのに、埋もれてしまうのはもったいないです。なかなか難しいとは思いますが、知名度を上げていってほしいです。(男性／30 歳代／秋田地域)

#### D 人口減少対策、少子化対策(結婚・子育て支援等)に関すること

- 大型の公園など、子育て世代が利用する施設が秋田県には圧倒的に少ないと感じています。近県では、岩手県には「いわて子どもの森」、青森県弘前市ではデパートの中に行政主体の遊び場が、田舎館村には道の駅内に大型遊具がある遊び場がありますが、県北地方には大きな遊具がある人の集まる遊び場がありません。大型の遊び場は県外からも人が来ます。大館か鹿角辺りに施設ができれば青森や岩手からの集客も見込めると思いますので検討願います。(男性／30 歳代／北秋田地域)
- 保育料が高すぎる。所得制限を設けているが、納得いきません。第2子保育料無料も全世帯にするべき。該当にならないので、いろいろニュースになるけどがっかりします。やるなら全世帯にして下さ

い。とても損した気分になります。保育料を稼ぐためにフルで働いているのに、毎日疲れています。余裕がありません。（女性／30歳代／秋田地域）

- 秋田県は雪さえ除けば地震や洪水などの被害が少ないので、工場の誘致に適していると思います。特に県南は上流なので洪水などの被害も少なく、工場の設置に向いているのではないのでしょうか。町内に若者が住みやすい環境を作り、若い世帯を増やし、子どもを増やし、町内に子ども達の遊ぶ姿があらこちらに見える町になってほしい。（男性／60歳代／雄勝地域）
- 少子化対策をもっと具体的に時期を明示して推進してほしい。（男性／40歳代／由利地域）
- 秋田で生まれ育ち、20代に1度東京で数年過ごしましたがやっぱり秋田が好きで帰ってきました。自分が小さい頃は、祖父母、近所の人達に見守られて育ててもらいました。今、子どもの面倒を見るのは親だけ。近所の人達ともほとんど交流がなく、子育てをしても時々寂しさを感じます。もっとも子どもが増えれば、昔のように地域の方々とも触れ合いながら子育てしていけると思います。（女性／30歳代／由利地域）
- 一番大事なことは、若者が将来秋田に住みたいと思うことである。そのためには、働く場所の確保、子どもを産み・育てる環境の充実が絶対に必要です。人口増（移住・定住の拡大）へ向けて思い切った施策をしてほしい。高齢者対策は必要であることは当然ですが、国保の高齢者一割負担は手厚過ぎる。若者へ投資してほしい。（男性／70歳以上／秋田地域）
- 若者が定住できるような施策を第一に考えて実行してほしい。（男性／70歳以上／平鹿地域）
- すばらしい自然環境、農産物に恵まれていて、教育環境も日本でトップクラスの秋田県なので、この地域で子育てをしたいと思ってくれる若い世代がたくさん増えてほしい。それには働く場がもっとあればいいと思います。6月に行われた「食と文化の祭典」のイベントのようにアイデア次第で秋田には人がたくさん集まり、にぎわいが生まれるので、秋田に住んでいる人も楽しめるイベント等がもっとあればいいと思います。（女性／40歳代／秋田地域）
- 外国人を受け入れて国際色あふれる都市にして、人口減少問題を解決する糸口にするのも良いと思う。もちろん抵抗がある人が多いと思うし、現在日本は移民受入れには消極的なのも理解している。しかし、留学生を見るたびに、彼らの熱心に勉強する姿や国に帰ってから役に立ちたいという意欲をととても感じる。（私は秋田大学付近に住んでおり、留学生に住まいを提供したこともある者です）いずれ世界のグローバル化と人口爆発は必ず日本も飲み込んでいき、我々の地域にも影響を与える時が来ると思う。ならばむしろ他都市に先駆けて、外国人を意識した取組を行うことが未来をつくる気がする。秋田には国際色豊かな大学があるように、その土壌はあると思う。行政にはそういった大きな流れを呼び込む政策をすることがこれからの役割ではないかと思う。（男性／30歳代／秋田地域）
- 人口減少を少しでも食い止めるよう、子どもを産みやすい環境の整備と支援を充実させてほしい。また、日本の中でも高齢者比率の高い県になるのは間違いないので、税率を上げたりするのではなく、大きな企業を誘致し、働ける世代が他から来てもらえるようにし、税収を増やし、その結果、高齢者へもサービスを実施してほしい。今のままだと若者は流出し、高齢者だけが残されてしまうと思うので、今いる若者を大事にしてほしいと思う。（女性／40歳代／秋田地域）
- 育児の真っ最中なので、子育て支援をもっと充実させてほしい。金銭面での負担が大きい割に保育園に入れるのが大変。また、働きにパートへ出たところで、保育料を払えば、プラスマイナスゼロ。母親の負担が大きい現状をもっと考えた方がよい。周りの20代の友人も、こんな行政だから子どもは

まだ考えられない、いらぬと言う人が多い。少子化、不妊が多い中でもっと行政は焦って改革を進めるべき。(女性/20歳代/秋田地域)

- 子どもとお年寄りにやさしい社会、地域であれば、自然に人口は増える。公共交通機関は赤字だとしても必要。移動販売車を過疎地で動かすことも必要。いまある自然を生かした街づくり。歩行者、自転車にやさしい道路。ベンチを置く。第1次産業を守らないと、秋田は何も残らない。観光も、第1次産業があって成立している部分は多いのだ。セリオンリスタのような、全天候型で無料の子どもが遊べる所が必要。(女性/40歳代/秋田地域)
- 子育て給付金の対象範囲が狭い。(男性/30歳代/秋田地域)
- 地元で若者達が仕事をできる県であってほしい。子ども達のがのびのびと生活できる秋田県だと思う。そこを理由に、他県から人を集められるようにできないのか？空き家が多くなっている。それもうまく活用できないものか？(男性/10歳代/平鹿地域)
- 秋田県内に若者が帰ってきてても、仕事先がきちんとあり、子育ても安心してできるようになってほしい。仕事先がなかなか見つからず、帰郷したくてもできない若者がたくさんいるのです。(女性/50歳代/山本地域)
- 今春から2人の大学生を持つ母になりましたが、県育英会の奨学金が3人目から云々という話を聞き、少々残念でした。3人目(子どもは何人)いてもいいとは思っていましたが、1人目、2人目も、それなりにかかるので、3人目からというのは、どうかと思っています。1人目は県外の大学に行っていますが、この先県内に戻りたいという意志はあるようですが、就職したいところがなければ帰れないと思います。(女性/50歳代/仙北地域)
- たくさんの人が移住し活気ある秋田になってほしい。(女性/20歳代/平鹿地域)
- 妊婦時の検診無料券もありますが、すべて無料も考えられないものか。そして月齢が低いほど保育園の空きがないので確保してほしい。第2子以降の保育料が無料になりましたが、第1子からもう少し保育料の負担を無くしてほしいです。(女性/30歳代/山本地域)
- 少子化について、夫婦共働き家庭への増税。夫婦片働き家庭への減税もしくは助成券配付。専業主婦(夫)家庭への学費減免措置。(男性/30歳代/由利地域)
- 他県からの移住、特に若者等の対策をしてほしいです。人口減少している今、何をすることも人手が必要になります。県民1人ひとりが、自分の地域の現状を知り、貢献したいと思う気持ちが必要だと思います。私も、様々な視点で見て知識を蓄え、少しでも秋田のために貢献できるように頑張りたいです。(女性/20歳代/北秋田地域)
- 若い人の人口流出を止めなければ、若い人同士の出会いも結婚もない。出生もない。そのためには、高校卒業時の対応である。企業を増やし、大学を増やしてほしい。商業施設の夜の時間延長、駅前駐車場の無料化など若い人達に魅力のある地域づくりをしてもらいたい。(女性/50歳代/由利地域)
- 若い人がたくさんいて子どもも増えればいい。そのために仕事がなければならない。子どもを2人、3人と欲しいけれどもお金の面から我慢するしかない。(女性/30歳代/山本地域)
- 少子化対策で子育て世代に支援しているのは良い事だと思うが、その前の世代を秋田に定住させなけ

ればならないと思う。高校までは秋田にいる若者が大学入学とともに秋田を離れ卒業しても帰ってこない。県内の大学に他県から来ても卒業と同時に首都圏又は他県に就職してしまう。もっと県内に就職してもらおう為の対策が必要ではないだろうか。（男性／50歳代／仙北地域）

- 若者が定住したい県にすることが希望です。秋田駅前、すべて駐車場を無料にして、ゆっくり見て回れるようにすべきだと思います。そして、若者が行きたいと思う施設や若者の行きたがるショップ（服、若者のブランド）の誘致が必要だと思います。10代20代を大切にしてください。若者などに、駅前開発の公募などをし、行政と若者との意識のズレを知る必要があると思います。（女性／30歳代／秋田地域）
- 自分が子育てをしていた時にも思っていた事です。今、孫達が遊べるエリア（自然は充分満足しています）が少ない事。これでは若者は住みません。高いお金を使い、遠くまでわざわざ出掛けているのです。冬でも行きたくなる様なドーム型の（有料で）遊園地等、是非とも作っていただきたいものです。（女性／60歳代／秋田地域）
- LGBTに優しい県になればよい。人が人を呼び人口も増えるかもしれない。パートナー制度、里親、養子縁組など。（男性／30歳代／居住地域不明）
- 今後の人口減少がとても心配です。若者が県外へ流出しない対策を県政の最重要課題として取り組んでいただきたいと思います。現在も実施されていると思いますが、数字として表れるようお願いいたします。（女性／60歳代／雄勝地域）
- 秋田県には、豊かな民俗芸能、祭り＝文化があります。それを基に（東京や大都市圏からの投資や観光客を呼びこむのではなく）世界に向けて発信し、世界とつながり、東京を超えた「カッコいい」、「いいもの」と認識されるものを作っていければ、東京や他県に出ていく若者や出ていったあとに戻らない若者が減るのではないのでしょうか。世界中から人を呼び込めるような県になってほしいと思います。国際教養大のような取組に賛成です。活用してください。（女性／40歳代／仙北地域）
- 子どもの遊べる場所がなかなか無いので、公園等を各地域に充実させてほしい。（女性／30歳代／由利地域）
- 子育てしやすく、秋田に若い人が定着して行ってほしい。県内で結婚し、色々な人に秋田を知ってもらえる、住みやすい秋田でいてほしい。皆で協力して、解決して行ってほしい。色々大変な所があるが、そんな秋田が大好きです。（女性／30歳代／北秋田地域）
- 地域が活力を持っているというのは、色々な世代と一緒に暮らす状態なのだと思います。日本が高齢化していくなかでは難しいことですが、若い世代が定着しやすい環境を、全国に先んじて進めていくことが大事だと考えます。未来を感じられる仕事、職場であれば、若い世代が興味を持ってくれるのではないかと。航空機産業への注力などはいい視点ですが、ライバルも多いのが辛い。多様化したアプローチ（AIの開発を一步進めて、医療分野への応用を図るなど）が、次の人材を呼んで、ますます発展するのを見たい。（女性／50歳代／秋田地域）
- 今最も心配している事は人口の減少です。県の重点戦略は、誠に要領を得ていると思います。その中でも今急ぐべき事は、重点戦略の（1）（2）の強力な推進にあると思います。県の行政としてはすべてを同時に進めることが理想であるが、いまの県勢の現状から戦略（1）（2）の項目を重点的に進めるべきであると考えます。（男性／70歳以上／秋田地域）



- 秋田に住んでいる県民が「秋田には何もない」「何も見るところがない」と言うこともよく聞きます。まずは県民1人ひとりが秋田の素晴らしさを誇りに思い、外へ発信できるように、そうでなくとも「何もない」等と言わないようになればいいと思います。（女性／20歳代／秋田地域）
- 働く場の充実。仕事があれば若者は、県内就職を望んでいると思います。育児施設と職場環境の充実をお願いしたい。（女性／50歳代／秋田地域）
- 子育てをしながらでも働きやすい企業を増やしてほしい。子どもの学校行事でも休みがとりやすいなど。また、子どもが学校が終わってから利用する学童クラブの充実を望みます。学校からの宿題が多すぎるため、毎日保護者がチェックするのも大変です。昔のように土曜日でも登校したらいいのではないかと思います。（女性／30歳代／秋田地域）
- 人口減少は自然なことであり、無理に食い止めようとする政策は必要ない。現在、秋田に居住している県民に対する「教育」「医療」「介護」の水準を維持、またはさらに向上させていくことを第一に希望している。（男性／40歳代／秋田地域）
- 子育てのしやすい環境を望みます。2世代のみの家庭でも安心して子どもを産めるよう、保育園や学童保育の充実を期待しています。（男性／20歳代／秋田地域）

## E 保健、医療、福祉サービスに関すること

- 今回認知症の設問がありましたが、認知症ならびに全身状態が衰弱している方（フレイル）への対応は十分とはいえないと思います。認知症の有無に関わらず、人は必ず亡くなります。高齢化社会＝多死社会ですので、どのように、どこで最後のときを迎えるか、ということを考えざるを得ません。秋田県は全国有数の高齢化県ですので、認知症のみならず、その先の「いかに亡くなるか」について県として取り組むことで、亡くなる方及びその家族が安心して「死」に向き合えるようになるのではと思います。また高齢化社会における死への対応は、全国に先んじたロールモデルになりえると思えますし、その中で雇用の創出が可能になるかもしれません。（男性／30歳代／秋田地域）
- 高齢化が進むなか、秋田県も長野県のように健康で長生きできるように県の主導のもと食生活の改善を進めてほしい。（女性／40歳代／北秋田地域）
- 健康を一人ひとりが意識できる取組をしてほしい。禁煙県No.1とか。結婚や子育てに興味を持てるよう、中・高生への働きかけをしてほしい。（女性／40歳代／平鹿地域）
- 障がい者を家庭に持つ世帯として、時間外に相談する窓口がない。施設等の利用も試みたものの、対象者年齢適用外という事ではじかれてしまう。そのような場合の連絡先、相談先を、わかりやすくしてもらいたい。（男性／40歳代／秋田地域）
- 地域の病院でも夜間救急を行ってほしい（特に子ども）。子育てしながら働くのは、現状やはり厳しい。学童保育、幼稚園の預かり保育は充実してきているが、急に欠勤できない為、病児保育の充実を希望。（女性／30歳代／秋田地域）
- 医療従事者です。患者様の中でも独居老人と金銭的に余裕のない家族、身よりのない方が増えています。退院先の決定などに困ることが多々あります。また、30代～40代の方でも、がんなどにより長期治療が必要となり、治療費も相当かかることから、職を失う＋金銭的に苦しいといった状態とな

り、治療に専念できていないケースもあります。がん死亡率トップという状況からの行政サポートをお願いしたいです。（女性／30歳代／由利地域）

- 老人が安心して暮らせる県であってほしい。施設の充実はもちろんのこと（介護士の賃金を上げる）家でも1人で死ぬまで暮らせる様になってほしい。（男性／30歳代／居住地域不明）
- 高齢化が進む中、医療の充実云々もわかるのですが、病気にならない様にする身体づくり、例えば長野県のような県民（地域丸ごと）で取り組む姿勢が、末端まで伝わる様に広めてほしい。寝たきりの人を少しでも少なくしたい。自分ができる事を、年だからと諦める事なく、出来る範囲でやれたらいいなと思います。（女性／60歳代／秋田地域）
- 親の介護を経験しました。60代でもとても元気な方々が、たくさんいる地域です。この人達に、介護のボランティア又は就職してもらい、手助けしてもらったら、人手不足の介護現場が良くなっていくのではと思っています。リタイアしないで、「一生現役で」働きたいと思っています。若者もですが、中高年の職場を増やしてほしいです。（女性／50歳代／山本地域）

## F 教育、教育環境に関すること

- ひきこもってしまった若年者を対象とした、社会復帰の場を作してほしい。（女性／30歳代／仙北地域）
- 子どもたちが今以上に地域社会に関われるイベントを実施したい。子育てしている女性たちの働く機会を増やしたい（ママ友たちが気軽に情報交換できるイベント等の実施）。（男性／40歳代／仙北地域）
- 中・高生から経済の勉強を充実させ、収入が少ないとされる秋田で経済の知識を得ることは、有意義なことだと思います。（女性／40歳代／平鹿地域）
- 選挙権の引き下げに対応するための高校生からの教育を、十分に充実してあげてほしい。（女性／40歳代／由利地域）
- 小さい頃からの人間教育を充実させてほしい。人間としての基礎教育の充実が、今の混沌とした世の中を少しでも明るいものに出来たらと思う。お互いを思いやる気持ちが、世の中を明るくしてくれる事を願って。（女性／70歳以上／由利地域）
- 秋田県の小・中学校の学力は高い評価を受けていますが、高等学校はどのようなレベルでしょうか。県独自の向上策があっても良いのではないのでしょうか。（男性／70歳以上／山本地域）
- 自分が住んでいる地域の教育について、自宅で義務教育ができるようにしてほしい。秋田県民の英語の習得については、保育園から、本人に英語を学習するかしないか確認するようにして、途中で英語を習得したい時は、教えるような柔軟な教育をしてほしい。（男性／20歳代／仙北地域）
- 私は自分の生まれ育った地域、秋田が好きで、大学を卒業後に帰省した。しかし、自分のやりたい仕事をするための資格を取れる学校がなかったことが残念だった。難しいことは分かっているが、若者が夢を叶えられる環境が近くにあるとよいと思う。（女性／20歳代／秋田地域）

- 子どもがいるが、地域の高校が統合で廃校にならないでほしい。さらに過疎化が進みそうなのでやめてほしい。（女性／40歳代／由利地域）
- 秋田の教育は「きりたんぼ」と同じ位有名になりました。詳しい国や学校名は覚えていませんが、海外には親子で移住してまで通わせたい学校（小学校から）があり、日本の裕福な家庭や熱心な親御さんが子どもを入学させています。親もついて行っています。それ位の強烈的な教育県としたらいかがでしょう。何か「崖から飛び降りる」ような事をしなければ秋田は変わらない気がします。（女性／40歳代／秋田地域）
- 子ども達が様々な事に触れ合えるような県になって欲しい。子どもの時にしかできない事をもっと体験させてあげられる様な環境づくりをしてほしい。（男性／30歳代／秋田地域）
- 私は秋田に経営やマーケティングを学べる大学に不足を感じ、県を出てしまいました。起業や地域活性化について学ぶことができる機会、場を秋田の若者は求めています。（女性／20歳代／秋田地域）
- 少子化の中で、小・中学校の統廃合が安易に進められている。地域に学校が無くなることは、地域の衰退を意味している。特に大館では5校位の小学校が1校になり、衰退してしまった。少ない児童、生徒であっても、学校数は現状を維持すべきであり、統廃合はすべきではない。（男性／40歳代／秋田地域）

## G 地域社会づくり、集落の維持等に関すること

- 身近な所でどんどん空き家が増えていき、それを壊すのでどんどん空地になっているように思います。少しでも可能性があるのであれば、移住を考えている人にもっと積極的に声をかけ、来てもらう方法があればと思います。人が減ってしまうと、地域全体が弱くなってしまいうように思えます。（女性／30歳代／雄勝地域）
- 1人暮らしが楽しくできる、地域が助け合って生活できる地域づくりをしたい。（男性／70歳以上／鹿角地域）
- 中心部への居住地集約策も納得できるが、その前段の独居老人対策として、移動販売等の機会充実を図り、利便性を高め、地域維持に気を配ってはどうか。（男性／60歳代／秋田地域）
- 高齢化の進行度が日本一ならば、それを逆手に取り“高齢者が日本一住み易い秋田県！！”にシフトして、高齢者に対してのサービスやインフラを充実させ、県外からも高所得の高齢者に定住していただくというのはどうか。財政的にはとても大変だとは思いますが、人口増加が望めないならば、違ったアプローチも必要では。（女性／50歳代／秋田地域）
- まだ運転できているので不便なことはないが、今後のことを想像すると仲間や地域の人たちの交流の場となる、町営のボランティアを利用した町民レストラン兼、物産館のような気楽に集える施設があると情報交換にもなる。（女性／60歳代／山本地域）
- 空き店舗、空き家等を良い方法で利用できないか、考える一人です。高齢者がバスで来られる場所の空き家や店舗を開放し、話し合いの場、交流の場にするため、県・市で支援してほしい。特に一人暮らしの人は、話し相手がほしい、とよく聞かれます。（女性／70歳以上／秋田地域）

- 子どもから老人まで生活しやすい環境が整い、楽しく思える地域。学校の空き教室を使って、老人など介護度が軽い人と子ども達が生活できれば、家に老人がいない子ども達も老人を身近に感じる事ができるし、老人も子ども達の声が聞こえると楽しく1日を過ごす事ができると思う。（女性／50歳代／仙北地域）
- 空き家の解体について充実した補助制度をしていただきたい。（男性／60歳代／居住地域不明）
- お互いが日常から声をかけあうコミュニティであること。県外就職した者も、家族・同僚を連れて帰郷し、参加できる祭りやイベントが地域にあること。（男性／60歳代／秋田地域）
- 今の家に住むようになって20年以上になりますが、一番は隣近所が仲良くしている事だと思います。これからは高齢化が進む一方ですので、お互い助け合っていかなければと思っています。近くに集まっておしゃべりのできる様な場所があれば楽しいし嬉しく思います。（女性／70歳以上／秋田地域）
- 私の住む地区は、小学校が統合になり、地域の行事が1つ減りました。このまま行けばなくなりそうです。廃校になった学校の使い道も決まっていません。（女性／40歳代／秋田地域）
- 学校（小・中・高）の統廃合はもうやめよう。地域の衰退を生むだけでなく限界集落の発生を助長するだけです。（男性／60歳代／雄勝地域）
- 将来に目を向ける地域のリーダーづくりが必要だと思います。地域が元気にならなければ、県全体としても元気にはなれないと思います。核となる人材がその地域を牽引していくことで、一つひとつの課題を解決していくような仕組みづくりが必要だと思います。秋田にも人材はいると思います。その方々と連携していくことに、県として、まず取り組むべきではないでしょうか。（男性／60歳代／秋田地域）
- 住んでいる地域住民（老若男女）が声をかけ合い、親しく交流できる街にするために、みんなが進んで地域ボランティア（花だんづくり、緑地の手入れ等）活動に参加するまちづくり活動をしたい。県市町村有地の有効活用を図るために公園道路、河川等の環境整備に市民が積極的に参加してもらえるように、地域団体に活動資金を助成する制度を充実してほしい。（男性／70歳以上／山本地域）
- 自分の住んでいる地域は、岩手県の紫波にある「オガール」のような地域にしたいです。（男性／20歳代／仙北地域）
- 使わなくなった施設等（公民館や学校）をそのままにしていると老朽化も進むし、壊すのにお金がかかるので、再利用して県や地域の方々に役立てればいいと思います。合宿施設などにすれば県外からスポーツ大会や合宿で来た人が利用でき、地域の活性化やスポーツ振興につながるかなと思います。他にも道の駅のような販売施設や学習センターとして、勉強できる場の確保をしたりするのもいいかなと思います。（女性／20歳代／山本地域）
- 何でも行政まかせではなく、自分達の問題として解決していくような、仕組みづくりができればと考えます。（男性／30歳代／平鹿地域）
- 行政と自治会や町内会が連携し、高齢者世帯の定期訪問ネットワークなどを作り上げ、常に町内に住む高齢者がどのような状態にあるか把握できるようなシステムはできないものだろうか。まずは今住んでいる人（高齢者）の対策、今生きて生活している人へ手を差し伸べるのが先ではないかと考えます。（女性／50歳代／北秋田地域）

- 限られた税収、減っていく人口の中で、案を出し、実行している「官」の姿は評価します。住民が5年後、10年後を、どう考えているのか、あまり危機感を持っていない気がします。がんばる若い人達の記事を目にすると、応援したくなりますよね。企画するイベントに参加するとか、品物を購入するとか、小さい力ではありますが、年寄り世代として、若い人に協力することが責任だと思います。昔、学校から帰ると家に祖父母がいたように、放課後、地域の子ども達を地域の老人が見守る、みたいな、世代を越えて仲の良い秋田県になったらいいなと思います。（女性／50歳代／秋田地域）
- 身の回りにあるものに目を向けて、その力を最大限に引き出し地域に貢献出来るような仕組みづくりを行ってほしい。誰でも気軽に自分の出来る事を互いに出し合えるような。必要としている人に必要な事を互いに融通し合えるような助け合いが心の負担なくできれば、楽しい地域になると思う。箱物はもう十分。システムづくりで地域に活気をつくってあげたいと思う。単発のイベントだけでは活気はつukれないと思う。地域の人の心の余裕が、町の豊かさを感じさせると思う。（女性／60歳代／秋田地域）

## H 生活基盤整備（上下水道、除排雪、地域交通等）に関すること

- 大仙市南外に住んでいますが、スーパーがなく、神岡、大曲へ行く必要があり、高齢者の方は週一回の移動販売車に頼っている現状です。コンビニも有りません。スーパーのようなお店の出店がかなえられるように、県で応援、対応していただければ嬉しいです。地域の皆さんもいろいろ考えているようですが、なかなか実現できていない状況のようです。（女性／60歳代／仙北地域）
- 住んでいる鹿角も人口が減り、そのため、交通の便がすごく悪くなっています。1時間に1本のバスも無い時間もあります。病院通いの人など高いタクシー代を払っている人も少なくないようです。バス並みの料金で利用できる交通機関があればと思います。（女性／60歳代／鹿角地域）
- 今は車を運転できますが、これから先買い物など不便を感じると思います。近くに小さな店でもあればいいと思っています。（女性／60歳代／雄勝地域）
- 高齢になっても住みやすい土地でいて欲しい。いつまでも自然豊かな環境。公共交通機関の利便性を求めたいです。（男性／70歳以上／秋田地域）
- 自宅周辺にスーパーなど買物できる場所がなく車で10分以上走らないとお店がない。利便性の良い地域づくりを期待しています。せめてコンビニでも近くにあればいいのですがありません。（女性／30歳代／山本地域）
- 75歳になり、国道のバス停まで歩けなくなってしまいました。健康で世間様に迷惑をかけない老人になりたいと思っていますが、市街地までの交通の便が悪すぎます。特に冬期間の老人にうつ病はつきものです。自殺、うつ病、命の問題です。いずれ車の免許は返納の時が来ます。公共の交通機関の整備は必需と思われます。（男性／70歳以上／秋田地域）
- 屋根の雪おろしのため命綱と固定する金具を設置する家が増えているとのこと。住宅工事の費用で負担してくれるとのことなので、このような県の対策には大いに賛成。（男性／40歳代／秋田地域）
- 車の交通量が増加している地域の道路の拡幅を進めてほしい。歩行者には危険すぎる。（男性／60歳代／秋田地域）

- 生活の基本となる下水道整備と流雪溝の完備が必要。（男性／70歳以上／雄勝地域）
- 高齢になっていく上で、体力がなくなり雪なげが大変になって来ます。屋根の雪おろしは年に数回としても、毎日の道路の除雪は厳しいものがあります。ましてやブルドーザーが置いていった雪は重く固く、重労働極まりません。他県では、道路の除雪に工夫をして住民の負担を軽減する取組をしてくれていると聞きました。毎年除雪費に莫大な税金を使うのではなく、通年にわたって楽に雪なげが出来る対策を望みます。（女性／50歳代／雄勝地域）

## I 環境保全、自然環境に関すること

- 高校生の子どもを持つ親はみんな送迎しています。それは、バスと電車の時間が合わないからです。バス利用者が増えれば、少しでも温暖化防止、渋滞解消になるのではないのでしょうか。（女性／40歳代／秋田地域）
- 自然豊かな環境は保ってほしい。（女性／40歳代／由利地域）
- 川の近くに住んでいるので、毎日土手の散歩をしています。川の増水が一番気になります。定期的に土手の崩れなどの見守りをお願いしたい。（女性／70歳以上／居住地域不明）
- こんなに自然豊かな秋田県だけど、街中は東京の方が緑があって心地よい。（女性／40歳代／秋田地域）
- 手入れされた山林にして子ども達が森の素晴らしさに触れられるようにしてほしい。（女性／50歳代／北秋田地域）
- 四季の変化を楽しめ、自然災害も比較的少なく、観光資源にも富み、とても魅力的な県だと思っています。ただ、その環境を壊してしまうことのないように次世代へつなげていけたらなと思います。（女性／40歳代／仙北地域）
- 自然環境の保全、住環境、インフラの充実を図ってほしい。秋田県は自然豊かな田舎のままで良いと思います。無理に都会に近づくことはない。高齢者が住みやすい県になってほしい。高齢になった人が移住を考えてもらえるような環境を整えてほしい。（男性／50歳代／秋田地域）

## J 男女共同参画の推進に関すること

- 男女共同参画は素晴らしい取組だが、登用に関しては能力のある方に限って欲しい。時代に流されて役職の男女比ばかり求めると、中身が全く伴わないものになってしまう。（男性／30歳代／秋田地域）
- 少子化対策が、後手後手にまわっている気がする。子どもが病気になると、母親が仕事を休む事が多い。父親がもっと子育てに参加するのが当たり前という社会になってほしい。（女性／40歳代／由利地域）

## K 文化活動・スポーツ・生涯学習の振興に関すること

- “スポーツ立県あきた”という割には、スポーツ施設等が少ないため、もう少し増やしてほしい。（男性／10歳代／平鹿地域）
- 子ども達は部活の数、人数が少なくなり、チームを組めず廃部に追い込まれ、様々なスポーツで活躍している県人がいるにもかかわらず、子ども達がスポーツに接する機会は少ない。地域のスポーツ大会も運動会も、ほとんど参加者が固定された方々の大会になっている。体育協会の役員も高齢化し、予算がどのように使われているのか、よくわからない。自然に恵まれた秋田の環境で思う存分、子ども達のスポーツができる環境づくりや指導者の育成を、県としても進めて下さい。（女性／50歳代／秋田地域）
- 少子高齢化社会の現在、高齢者がいつでも利用できるレクリエーション施設をもっと多く作ってほしい。そうすれば高齢者が生き生きと楽しく生活できるようになると思います。（女性／70歳以上／秋田地域）
- 学校単位では少人数でままならず、スポーツ少年団という形で子ども達の活動がなされていますが、運動が苦手な子どものやりたい事が、学校の都合でできなくなっています。芸術、文化の振興もしているのであれば、音楽等も小さな頃から親しめる様にできないものではないのでしょうか？私の子どもの通っている小学校も、スクールバンドがなくなりました。指導できる先生も保護者もいないからと言う理由です。物（楽器）があるのにやれない、やらないのは宝の持ちぐされ、お金の無駄ではないでしょうか。今から子どものやる気を削ぐのは可能性を消す事と同じだと思います。（男性／40歳代／北秋田地域）
- 新しい県の文化施設について、県民の多くの芸能・文化に関わる皆さんが、完成を期待している事と思います。毎年行われます、国民文化祭に参加している文化関係団体の代表者のご意見を集約され、建物を使用する皆さんが喜んで使用される内容の施設となる事を希望致します。（男性／70歳以上／秋田地域）

## L 安全安心なまちづくり、治安、災害対策に関すること

- 少額ですむ災害保険制度の推進。（男性／70歳以上／居住地域不明）
- 誰も住まなくなった家屋への対策を進めてほしい。（男性／30歳代／雄勝地域）
- 犯罪のない、住み良い環境の地域であってほしい。（女性／60歳代／秋田地域）
- 犯罪や事故が多くなり、事件がおきても犯人がつかまらない現状に警察署は、焦りを感じていないように見える。子ども達が笑顔で公園で遊べる環境にしたい。（女性／40歳代／秋田地域）
- 静かな農村地帯でありながら、医療などの面で生活が守られる地域を望む。特に都市化を望まない。自然を守りながら、子どもの教育、不安のない老後は送れないものか。豊かでなくても良い。皆が平等に暮せるような世の中になってほしい（争いがなくなると思うから）。（女性／60歳代／秋田地域）
- 最近では不審者や犯罪等も他県の事とは言えない状況になっている。地域の大人と子どもの親睦を深める場を作り、昔のように「～さん家の子」、「～さんのお父さん」、「うちの町内のおじさん」と

顔見知りになると、犯罪に巻きこまれる可能性も少なくなると思う。各会社が雇用を増やすことによって、犯罪をするような人を減らしていけるのかなと思う。（男性／30歳代／由利地域）

- 最近特に、昔はなかった事件が多過ぎる事に驚いています。都会の事ではなく、身近な所でも不審者が多く出没するので、孫達にも注意をするように指導しております。定期的にパトロール等の県警への願望も有ります。（女性／60歳代／秋田地域）
- 秋田県は自然災害も少なく、気候温暖で生活環境が大変よい。ただ、大正9年関東大震災のような過密都市での惨劇がいつ起きても不思議ではありません。県としては穏やかで暮らしやすいこの地に受入れ体制を今から準備しておく事は、先見の明があると言われます。新都知事に対し、危機管理を提案すべきでしょう。（女性／60歳代／秋田地域）
- 最近、熊が住宅地にも現れ、健康づくりのウォーキングも行きたくないと思っている（夜、夫と歩くので）。全国的に熊の数が増えていると思う。行政でなんとかかしてもらいたいと思っている。（女性／50歳代／由利地域）
- 今、私が住んでいるところは、秋田市郊外の住宅団地です。住んで20数年になりますが、町内の連帯感が気薄に思えて心配です。東日本大震災のような災害が起きたら…と思うと不安です。秋田市以外の出身者が大半のように、事情もあると思いますが、もっと話し合ったり、町内の交流を多く持つ事が必要のように思っています。（男性／70歳以上／秋田地域）
- 秋田で生まれて34年、ずっと秋田で育ちました。外のことは分かりませんが、20代の頃は物足りなかった秋田が、子どもをもつと非常に魅力的なものに見えました。雇用が安定し、治安が良く、医療も充実していて、住みやすいです。近所の地域社会も顔が知った仲、子どもを安心して学校に通わせる点は魅力的で、都会にはないものだと思います。（女性／30歳代／秋田地域）

## M 県のPRやイメージアップ戦略に関すること

- 今回の意識調査で、知らない事が沢山ありました。県の広報誌を目にした事がないと思いました。もしかしたら、目も通さずに捨ててしまっていたのかもしれない。自治体の広報の一部にして発行するなど、工夫をお願いしたいと思います。私も気をつけて見ようと思いました。（女性／50歳代／秋田地域）
- 老夫婦であり、インターネットなどやっておりませんので情報はテレビ、ラジオ、新聞しかありません。是非この様な情報提供を多くしてほしいです。（女性／70歳以上／平鹿地域）
- 多くのプランのなかで「戦略」という言葉が頻繁に使われている。私は戦争を思わせる不適切な表現だと感じている。「計画」とか「手立て」などの表現を用いるべきだと思う。（男性／40歳代／仙北地域）
- 秋田県は東北の中でも恵まれていると思う（災害など比較的軽く済む）。ただ、県民自体が高齢化しており、他の県に比べれば、若い世代がどんどん都市部へ出て行ってしまっている。知事を含めた公人の人達は、10～20代、30代の人々ともう少しコミュニケーションを図って、どう考えているか知ってほしい。住みたい街ランキングに入ってほしいとまでは行かないが、他県の人達が興味をもってくれる県、地域になってほしい。（女性／30歳代／由利地域）



- 現在の市町名はいいとしても、どこと合併して現在の市町村名になっているか解っている方は少ない。できれば県広報でも周知していただきたい。（男性／70歳以上／由利地域）
- 希望というものでもないが、もっと秋田県は積極的に物事を発信してほしい。とくに青森県・山形県と比較すると消極的に感じる。（男性／70歳以上／秋田地域）
- 米・野菜・果物等県内の農水産物の中には食味の優れているものが多くあるが、ブランドとして全国に名を馳せているものが無い。青森、山形、福島 of 果物類、岩手、宮城の水産物などはブランド品として確立している。県民・全国に様々な媒体を使って徹底PRを行ってほしい。本県のキャッチフレーズ等に今ひとつアピール度が感じられず、PR下手の感が否めない。（男性／60歳代／秋田地域）
- 外食する時どこの食事処に入っても美味しい秋田米を食べられるようにしてほしい。他県から来てくれる人にも、秋田米をPRしてほしい。日本一の枝豆なども、県外の人に食べてもらうよりも、まずは県内の人にその美味しさを知ってもらうのが第一と思います。美味しいごはんのある所に人は出掛けると思います。（女性／60歳代／秋田地域）
- 広報紙をもう少し充実したものにしてほしい。（くわしくはウェブサイトで、などではなく）パソコンをやらない人もたくさんいると思います。（女性／60歳代／秋田地域）
- 若者～年長者まで、幅広く自由に参加できるような団体を作って公報等で広め、色んな人を集めて意見を聞く機会があればいい。（男性／20歳代／秋田地域）
- 催し物のPR活動も悪い気がします。後からこのような事があったと言うのは遅いのではないのでしょうか？県職員もいろいろな催し物をやる場合、本気でそれに取り組んでいる姿が見えない時もあります。本気で自分達も楽しんでやる事が大事なのではないのでしょうか？（女性／60歳代／秋田地域）
- 観光資源がたくさんあるのに、秋田県内からほとんど出ない県民は、謙遜もあるだろうが、「ない」と言う。特に県庁職員、市町村の職員は、そのPRが下手すぎて、もったいないと思う。どんどん県外に向けてのPRをしないと。（女性／40歳代／由利地域）
- 知事自らのいろいろな方面への働きかけや（CM出演なども含む）PR活動は、これからも続けていただきたいと思います。気付かなかった秋田の良さを発見したり、なんだか元気が出てきます。何かと自分たちを過小評価しがちな秋田県人の意識を変え、県民1人ひとりが、秋田のイトコをおもしろく、自信をもって発信していけたら、かなりの戦力増しになるのでは？スギッチ、んだッチも頑張れ！！（女性／40歳代／仙北地域）

## N 行政全般への意見

- 県が女性活躍社会実現のために、県庁の女性採用人数の拡充を行い、出産後も働きやすくなるようなサポートをして、県民に示してほしい。市役所が新しくなり使いやすくなったので、県庁も県の『顔』として新しくしてほしい。（女性／50歳代／秋田地域）
- 県、市職員の人件費における、費用対効果を数値で具体的に示し、公表してほしい。官・民給与格差の是正が必要。（男性／30歳代／平鹿地域）
- 行政に働く人と民間で働く人々の格差が大きい。県の方は地域の一般の人の現状をもっと知るべき。

このアンケートが何に役立つのか理解できない。行政の色々な手続きも相談者の立場に立って相談に乗り、住民が納得できる対応をしているか、まずは反省すべきであると思う。「官民一体」とはそもそもどういうことかわからない。ごく一部の関係者、というイメージしかない。（男性／20歳代／北秋田地域）

- 知事さんの頑張りはよくわかります。県職員の方々が少々おとなしいような気がしますので、もっとガッツを持ってほしいと思います。他県の頑張りを耳にすると、悔しい気持ちがあります。おとなしい事は美德ではないですよ。（女性／60歳代／由利地域）
- 1000年後の健全な秋田を見据え、考え、行動してほしい。現状は、数年後しか見ていない。視野を広く持ってほしい。（男性／30歳代／秋田地域）
- 他の自治体の真似をする横並びでなく、誰も考えつかないような次元の違う施策でなければ、秋田県は無くなってしまおうと感じています。批判を恐れなくて、秋田県のために実行力のある施策をお願いします。（女性／40歳代／由利地域）
- すべての計画が計画のための計画になっていないか。計画を立案することが目標になってしまい、本末転倒になっていないか。よろしくをお願いします。（男性／40歳代／仙北地域）
- 地域住民が主体となったまちづくりをしてほしい。県、市の職員が頑張っているのは分かるのだが、住民の意識と連動していないように思える。（男性／10歳代／秋田地域）
- 県、市町村と色々な問題点を話し合える場をもっと増やしてほしい（デスクワークから現場へ）。地域が一丸になって問題点に取り組む体制を作っていきたい。（男性／60歳代／雄勝地域）
- 問2、県政の重要課題に項目としてありませんでしたが、「行政のスリム化」が財政上も重要だと考えます。地元自治体へ出向いていつも感ずることは、職員数が多いのではないかということ。法律で定められているのですが、給与もその地域の平均に合わせた給与体系にすべきでは。自治体だけが恵まれた給与で、地域の活性化と言われても、まずあなた方が身を切ってはという思いがあります。これは県にも言えることでしょう。（男性／70歳以上／北秋田地域）
- 働く世代への支援も考えてもらいたい。子育て世代・高齢世代の両極端だけではなく独身にも支援が必要。（女性／20歳代／平鹿地域）
- テーマに直接あてはまらないが、県政の推進にあたって限られた財源、要求の中で重点施策を選択し集中して見極める行動を認識すべきである。（男性／70歳以上／秋田地域）
- 一票の格差で鳥取と島根、徳島と高知が合区にされてしまったが、それぞれの県で民意が反映されない恐れがある。やがては秋田県も人口減少に伴い合区にされる恐れがあるかもしれないので、それだけは避けてもらいたい。（男性／40歳代／秋田地域）
- 重点戦略に関する質問が理解しにくく、回答しづらかった。（女性／30歳代／秋田地域）
- このアンケートに答えている最中、秋田出身でも秋田のことを知らない自分に気づかされました。中・高校でもっと地元秋田の現状や取組を教えてほしかったです。そのような知識があるかないかでこのアンケートの結果も大分変わってくると思いました。それと、最後にまとめて意見ではなく、政策ごとにフリースペースがほしいです。また、アンケート項目がややアバウトすぎて答えにくいです。例

えば「スポーツ立県あきたの推進」に関して、何のスポーツなのか、どのように推進していくのか、もっと詳しく知りたいという思いが出てきました。このようなアンケートも大歓迎です。若者の意見を拾うこと、I・Uターンした時のかつこいい仕事場を用意してください。秋大の工業、美大には特に可能性があると思います。頑張ってください。（女性／20歳代／秋田地域）

- 税金を有効に使ってほしい。内陸線や大韓航空への補助金の意味が良くわからない。効果が無いのだったら止めたらいと思う。一時不自由でも、必ず別の対応策が出てくると思う。私達の今後に向けたお金の使い方をしてほしい。（男性／30歳代／秋田地域）
- やる気のある人を（男女差別なしに）応援する、応援できる態勢・地域であってほしい。秋田には新しいこと、自分にとって理解できないことに対し、少し冷めた見方をする傾向にある。そこは県として少し厚く支援してもよいのではないかと思う。今後、高齢者は社会・地域活動にますます率先して取り組む必要があるとの認識を大いに持っていかなければならないと思う。（女性／50歳代／仙北地域）
- 同封の「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」の中身、資料をもう少し増やしていただくと、回答内容が変わると思います。（女性／30歳代／秋田地域）

## ○ 文化遺産・景観の保全に関すること

- 神社等古い田舎の風景を残す建築物が老朽化しており、改修が必要な集落がほとんどです。田舎らしい風景を残した観光資源にもなりうると思うので、再建、改修への支援が必要であると感じています。政教分離ということで、これまでこのようなものに財政支援は行なわれてきませんでした。このままでは貴重な文化遺産が失われてゆくのではないかと思います。（男性／60歳代／山本地域）
- 他の県がやっているから秋田もやるのではなく、秋田県が先頭を切って行動するよう希望。道路をきれいに、草も伸び切っており、景観が大事だと思います。（女性／40歳代／秋田地域）
- 最近、田んぼが潰されてコンビニなどが建てられてきているが、一面田んぼの景色などは、米どころ秋田の魅力でもあるので、次々に新しい建物を建てるのではなくて、使われなくなった建物を改装するなどしてほしいです。秋田は「米（田んぼ）」「杉」のイメージなので、身近にそれを感じられるような県になればいいなあと思います。（女性／20歳代／北秋田地域）

## P その他

- 60過ぎても、秋田の良さを感じています。まだまだ県内を知らないと思っています。秋田市内に住んでいると、遠方の地の大変さを考えたいと思います。友人たちと地産地消を心がけようと話しています。とかく残念な統計結果を見聞きしますが、少しでも改善できるよう県民・県職員などみんなで前向きに！！（女性／60歳代／秋田地域）
- 若い人が多く活気のある町になってほしい。駅前でのイベントを増やし、にぎやかな駅前を見たい。（秋田駅だけではなく各地域で）どんなイベントが行われているか分からないことがある。市民が積極的に情報収集しなくてもイベントの詳細が分かるといいなあと思うが、市民から動かなければいけない気もする。駅前の駐車料金を安くしてほしい。（女性／30歳代／秋田地域）

- どこに行っても同じ雰囲気はなくしてほしい。バスターミナルの雰囲気を他の所にも延長してほしい。木造の建築物が少なすぎる。もっと人間の背丈の建物があってもいいのではないかと感じる（例：松本市など）。（男性／70歳以上／由利地域）
- 秋田県は他に比べ、絶対的に動かしがたい地理的条件があり、他県に追いつこうとしても不利な面が多い。なので、むしろそれを生かし、高速道路や新幹線ではなく、ネパールではないが、「大いなる田舎」を徹底してはどうか。
- 今、地域のことを考える余裕がありません。父、母、認知症の為、家族を守るのが精一杯です。（男性／60歳代／山本地域）
- あちこちに空き家が目立つ。これらを有効に活用したい。シャッターが閉まったままの店舗は、少なくなってきたようだ。企業、産業が増えて、若人が集まり、子どもがたくさん産まれる地域になったら嬉しい。（女性／70歳以上／由利地域）
- 最近全国の路線価格が発表され、その下落率が全国でダントツの一位であった。このことは秋田県勢の著しい衰退を象徴している客観的事実であると思う。県や県議会をはじめ、行政にすべて責任を負わせるわけではないが、情熱や努力が足りないのではないかという気がする。県民にその熱意や気迫が伝わってくることを望みたい。（男性／70歳以上／雄勝地域）
- 秋田は少子高齢化が進み、人口も減少し、自殺も多い等、ネガティブなイメージを持たれているが、「変えていこう、変えてやろう」という意欲を持っている人々もいると思う。特に若い人達の未来を創っていくために、様々な支援を十分に充実させていてもらいたい。（女性／30歳代／雄勝地域）
- 秋田県を舞台にしたアニメの制作をしてほしい。（男性／20歳代／山本地域）
- 全国的に災害の多い中、秋田はまだ平和です。安全・安心に生活できる毎日が、ずっと続く事を祈るだけです。（女性／60歳代／仙北地域）
- 居住地の集約について、中心部へ住み替えをすれば、森林などの緑地が広がり、温室効果ガス吸収源対策にはなると思います。建設業などの活性化がはかられ、その他色々な利点もあると思います。しかし、その際の住民の心身や家計への負担を考えると不安です。（女性／50歳代／平鹿地域）
- 犬、猫殺処分ゼロの県にしてほしいです。ドイツを目標にした取組を目指していければいいと思います。秋田犬のPRもいいのですが、命あるものですので、ほどほどにしてもらいたいです。（女性／20歳代／秋田地域）
- 全国一の高齢化率の本県において、県独自の高齢者施策（ビジョン）というものが不足している。制度、政策も国のそれに追従しているに過ぎないと感じてきました。高齢者も若者も、安心して暮らせる（医療、福祉、経済生活）地域にするため、県独自の政策の施行を希望します。（女性／60歳代／秋田地域）

